

やさい週間情報 (第42号)

平成29年 1月20日 (金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,000~	6,000~5,800	—	1本売り (2L・L) 498~298円	本県産中心に北海道産の販売。 先週に引続き、入荷量は多くないものの、厳寒期より、ながいもの需要が減退傾向となっており、市況は弱含み推移。特に1月中旬以降、本県・北海道産ともに、下位等級品の割合が増量傾向となっており、C品を中心に徐々に荷物の滞荷が見られている。 来週については、本県産の入荷量は変わらないものの、荷動きの鈍さから、市況は弱含み推移の見込み。今後、一斉消費宣伝を行い、荷動きの回復に努める。
		A3L	6,000~	6,000~5,800			
		A2L	5,500~	5,500~5,300			
		A L	5,300~	5,200~5,000			
		A M	4,200~4,000	4,200~4,000			
		B4L	5,500~	5,500~5,300			
		B3L	5,500~	5,500~5,300			
		B2L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		B L	5,000~	4,700~4,500			
		B M	4,200~4,000	4,200~4,000			
		C2L	4,200~4,000	4,000~			
		C L	4,000~3,800	3,800~			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,000	6,000	若干	1本売り 498~398円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 末端売価が高いことに加え、高値推移により販売企画が少ないことから引合いは鈍っており、特に入荷比率の高いC品については弱含みの販売となった。 来週については、AB品については安定した入荷が見込まれることから、価格は概ね保合推移と思われるものの、C品については入荷比率が高い見込みから、弱含みの販売が続く見通し。
		A3L	6,000	6,000			
		A2L	5,500	5,500			
		A L	5,000	5,000			
		A M	4,200~4,000	4,200~4,000			
		B4L	5,500	5,500			
		B3L	5,500	5,500			
		B2L	5,200	5,200			
		B L	4,500	4,500			
		B M	4,000~3,800	4,000~3,800			
		C2L	4,200~4,000	4,000			
		C L	4,000~3,800	3,800			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	6,500~6,300	6,500~6,300		1本売り 498~458円 カット 98円/100g	北海道産（業者物が主体）を中心に本県産の販売。 今週は、北海道産が軽度なコブ・リング品が半数以上を占めたことと、その入荷量が多かったため、本県産のC品についても弱含みとなった。また、安価な転送品の出回りも増えているため、1本売りとなる細物についても同様の傾向となった。 カット品中心の売場構成となっているため、来週についても太物は保合推移となる見込みだが、細物は引合いが弱い状況が見込まれる。
		A3L	6,500~6,300	6,500~6,300			
		A2L	6,000~5,500	6,000~5,500			
		A L	5,300~5,100	5,300~5,100			
		B4L	5,800~5,500	5,800~5,500			
		B3L	5,800~5,500	5,800~5,500			
		B2L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		C2L	4,200~3,800	4,200~3,800			
		C L	3,800~3,200	3,800~3,200			
九州	本県産	A4L	6,000~	6,000~		カット 100g 88~68円	ながいもの流通量が極端に少なく価格は保たれているが、量販店の売価も上がっており、また、消費が減退する時期でもあることから、売場は縮小傾向が見られ始めている。 太物は入荷量が少なく引合いが強いものの、L級以下の1本売りは売価高の影響により荷動きが鈍く、来週も同様な傾向となる見込み。
		A3L	6,000~	6,000~			
		A2L	5,500~	5,500~			
		A L	4,800~	4,800~			
		B4L	5,500~	5,500~			
		B3L	5,500~	5,500~			
		B2L	5,000~	5,000~			
		B L	4,500~	4,500~			
C2L	4,000~	4,000~					
東北	本県産 北海道産	A4L	6,000~	6,000~	なし	1本売り 480~円 カット 100g 78~58円	本県産中心の販売。 高めの売価設定となっていることから末端消費は停滞となっているものの、入荷量は引続き多くないことから価格は保合推移となった。 来週については、引続き入荷量が少ない状況が続くことから価格は横ばい推移となる見通し。
		A2L	5,500~	5,500~			
		A L	5,300~	5,300~			
		B4L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B2L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		C2L	4,000~	4,000~			
		C L	3,800~	3,800~			

品名にんにく

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,000~1,800 2,000~ 2,000~1,800	1,800~ 2,000~1,800 1,800~	増加	L 1 P 298 円 M 1 P 198 円 中国産 3 P 100 円 ｽ ^ﾟ ｲ産 1 P 158~98 円	先週に引続き、本県産の入荷量が増加となっている。末端の荷動きは売価高により鈍く、入荷量の増加に伴い、各社在庫を持ちながらの販売となっており、市況は弱含み推移。 来週についても、本県産の入荷量は増加となることから市況は弱含み推移予想。入荷量増加に伴い本県産の一斉消費宣伝を行い、売場の拡大に努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	1,900~1,800 2,000 2,000 1,700~1,600 1,800 1,800	1,800 2,000 1,900~1,800 1,600 1,800 1,700~1,600	なし	L 1 P 298~258 円	本県産中心の販売となっている。 C A 入庫等による出荷調整はしているものの、末端は L 中心の売り場構成のため 2 L・M 級については荷動きの鈍い販売となった。 来週については、C A 入庫等により出荷調整されるものの、総入荷量は多くなることから、引合いの鈍い 2 L・M 級の価格を下げながら荷動きの回復を図っていきたい。
大阪	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,000~1,800 2,000~ 2,000~1,800 1,700~1,500 1,800~1,700 1,800~1,600	2,000~1,800 2,000~1,800 2,000~1,800 1,700~1,500 1,800~1,700 1,800~1,600		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 年末年始の在庫は一旦整理されたため、今週は保合推移となったものの、潤沢な入荷から徐々に在庫は溜まりつつあり、荷動きは鈍化してきている。 来週は入荷量が増量となることから、引続き荷動きは鈍いものと予想され、価格は弱含みの見込み。
九州	本県産	A 2 L A L	2,000~1,800 2,000~1,800	2,000~1,800 2,000~1,800		L 1 P 298~198 円	C A・氷温冷蔵への入庫により、市場流通量が抑制されていることから、価格の下げもなく L 級は順調な販売となっている。 来週も荷動きに変化はない見込みのなか、B 2 L 級の荷動きが若干鈍くなりつつあるが、価格を下げるまでには至らない見込み。

品名 にんにく No. 2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	1,800~1,700 2,000~ 2,100~	1,700~ 2,000~1,800 2,100~1,900	なし		本県産中心の販売。 本県産の入荷増量に加え、流通量も多いことから荷動きは緩慢となり弱気配での推移となった。 来週については、さらに入荷増量となる中で、今後は本県産の出荷ピークを迎える予想から価格を下げ荷動きの回復を図る。

品名 ごぼう

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	10 kg A 2 L A L A M 4 kg A 2 L A L A M	3,000~2,800 3,500~ 3,700~3,500 1,200~1,000 1,400~1,200 1,400~1,200	3,000~2,800 3,500~ 3,700~3,500 1,200~1,000 1,400~1,200 1,400~1,200	3 L・2 L多い	L 1 P 258~198 円 L ハーフ 258~198 円	本県産中心の販売。 1月以降本県産入荷量が少ない状況が続いている。ただ、これまでの高値から末端売価が高く、特売等の動きも少ないことから、市況は軟調推移となっている。 来週についても状況は変わらず、太物を中心に市況は軟調推移の見込み。
名古屋	本県産 九州産	A M A 2 M A S A 2 S A 3 S	3,500~3,300 3,600~3,500 2,500~2,300 1,800~1,600 1,400~1,300	3,300~3,200 3,500 2,500~2,200 1,800~1,600 1,300~1,200	若干	【本県産】 2 M 2 本入 258 円 【九州産洗い】 200 g 198~158 円	本県産・九州産（新ごぼう）中心の販売となっている。 量販店等の売価が高く荷動きが緩慢のなか、流通在庫を抱えた販売が続いていることから、全般に引合いの鈍い販売となった。 来週については、本県産の流通在庫は徐々に整理されると思われるが、安価な九州産洗いごぼうもあり荷動きの鈍い販売状況が続く見込みから、価格は弱保合の販売となる見通し。
大阪	北海道産 本県産 関東産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	2,400~2,200 2,800~2,400 3,500~3,200 3,800~3,500 3,800~3,300 2,600~2,100 2,000~1,600	2,400~2,200 2,800~2,400 3,500~3,200 3,800~3,500 3,800~3,300 2,600~2,100 2,000~1,600		ハーフ 158 円 2 M 2 P 198 円	関東産を中心に、本県産・九州産（洗ごぼう）の販売。 入荷の全体量は多くないものの、これまでの価格高から末端の消費は鈍く、依然として業務需要となる太物を中心に価格は弱含みとなっている。また、安価な転送品の出回りも増えてきている。 来週以降についても入荷量は少ない見通しとなっているが、同様の傾向が続く見込み。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主 産 地	主 力 等 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
九 州	本 県 産	A 2 L A L A M	3,500~3,300 4,000~3,800 4,000~3,800	3,300~3,200 3,800~3,600 3,800~3,600		M2P 298 円	<p>年明け以降、太物に加え売価高の影響等により、量販店向けのL・M級も荷動きが鈍く、全体的に若干下げ基調で推移している。</p> <p>九州各産地から洗いごぼうも入荷となっているが、量販店の売場は拡張されず、本県産を含めごぼう全体的に弱めの販売が続く見込み。</p>
東 北	本 県 産	4 kg A 2 L A L A M	1,100~1,000 1,300~1,100 1,400~1,300	1,100~1,000 1,300~1,100 1,400~1,300			<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産の入荷量はやや増加となる中で、依然として需要の落ち着きから太物中心に荷動きは鈍く価格は弱含み推移となった。</p> <p>来週について、荷動きの回復とはならないものの、入荷量は大きな増量とはならず、価格は保合となる見込み。</p>